

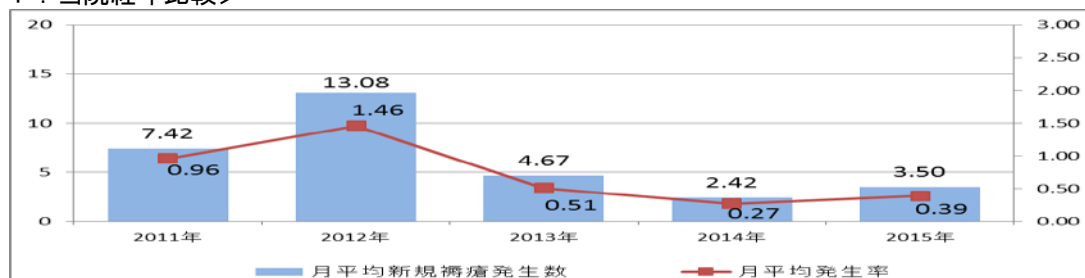
# 診療情報管理委員会ニュース

(2011年～2015年間：全日本民連 QI 推進事業：指標報告)

VOL. 34 2017年1月 診療情報管理委員会

## 【褥瘡新規発生率】

<グラフ1：当院経年比較>



<グラフ2：他民医連病院比較>



<分子> 入院後に新規に発生した褥瘡の数（別部位は1として計測）  
<分母> 調査月の新規入院患者数+前月最終日在院患者数（24時現在）

※注釈※

- ・DESIGN-Rで判定。
- ・入院時有病者・前月以前発症者は分子からは除くが分母に含める。
- ・同一患者であっても、別部位発生はそれぞれ分子としてカウントする。

### 【意義】

●褥瘡予防対策は、提供されるべき医療の重要な項目であり、栄養管理、ケアの質評価に関わる指標。褥瘡アセスメント、予防アプローチの組織化の促進。

### 【結果：皮膚排泄ケア認定看護師より】

●病院全体として褥瘡発生数の低減維持においては、褥瘡予防に関する環境面の整備や院内全体学習会の継続、褥瘡リンクナースの活用など組織的なアプローチが効果を成していると考えられる。

●今後はさらに医療関連機器圧迫創傷の分析から予防ケアの実践を行っていく必要がある。また、高齢者は脆弱な皮膚であり、スキンケア予防の視点でケアの質を高めていくとともに、地域の褥瘡予防に向けた取り組みに広げていきたいと考える。